

<p>【イベント名】 第12回 アジア遠隔医療シンポジウム -2</p>	<p>【概要】 アジア遠隔医療シンポジウムの2日目は、活発に遠隔医療を行なっている国や施設からの発表が多数あった。その中にはTEMDECと関係なく、その施設が独自に行なっている遠隔医療も含まれており、発表者、会場参加者、遠隔での参加者の間で活発な質疑応答が行われた。また、アフリカセッションではアフリカの国々を接続し、これからの同地における遠隔医療について活発なディスカッションを行った。</p>
<p>【期日】 2018.11.10</p>	
<p>【会場】 九州大学病院 (日本), マラヤ大学 技師自宅; クアラルンプール (マレーシア), スリウィジャヤ大学 技師自宅; パレンバン (インドネシア), フェ医科薬科大学 技師自宅; フェ (ベトナム), オーストラリア・ニュージーランド消化器病国際トレーニング協会 (オーストラリア), コンラッド ソウル (韓国), フィリピン ヘルスリサーチ・開発 協議会 (フィリピン), サンジャイ ガンジー医科学大学院 (インド), フィリピン先端科学技術機構 技師自宅; マニラ (フィリピン), サンカーラ・ネスララヤ病院 (インド)</p>	
	
<p>モニタに映し出される接続施設。</p>	<p>発表するDr. Ocampo。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>パネリストと遠隔からの参加者。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>サンカーラ・ネスララヤ病院の様子。</p>	<p>メイン会場に集まった参加者たち。</p>
<p>撮影場所：サンカーラ・ネスララヤ病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>